

◆職場内家庭教育研修会◆

愛知県厚生農業協同組合連合会 安城更生病院

日時：令和5年9月4日(月) 午後5時15分～

会場：安城更生病院 2F 会議室

講師：伊藤 博美 氏

椋山学園大学 教育学部 教授

演題：『心をつなぐコミュニケーション』



研修会会場

椋山学園大学の伊藤博美先生を講師に迎え、『心をつなぐコミュニケーション』の演題で職場内家庭教育研修会を開催しました。医療従事者は、日々、人の命に向き合う緊張した勤務の中で、更にこの3年は新型コロナウイルスの感染拡大で、心身に負担のかかる状況であったと思います。最近様々な制限が緩和され、医療現場においても人と人とのつながりの再構築が課題になってきています。



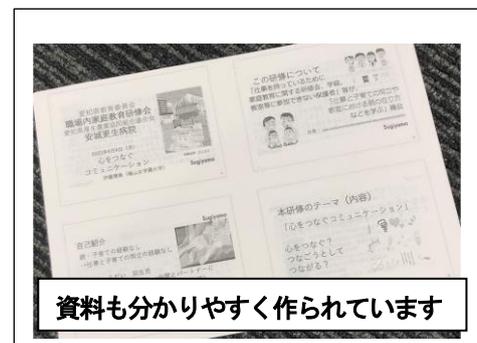
集中して参加されています

講義ではまず、『心をつなぐ』とはどういうことなのか？との問いから始まりました。障害のある患者と、その家族との関わりを題材とした事例では、相手を受け入れる気持ちと、1対1だけでなく、自分を取り巻く様々な人たちとのコミュニケーションの大切さや、さらに、何事も多面的に考えることの必要性を感じさせられました。また、人とつながろうと考えることや、相手を受け入れる姿勢が大切であるとお話

がありました。

限られた時間の研修でしたが、要点を絞った先生のお話で、有意義な研修会になりました。

各参加者による事後アンケートにも、自らの家族や親子関係に触れた内容のものも多く、参加者の心や気持ちに響いた研修会でした。



資料も分かりやすく作られています

参加された方々の感想より

- **自分がよかれと思っていることでも、相手にとっては求めていることではない場合もある。そのため、相手とのコミュニケーションが大切だと思った。**
- **自分の考えを口に出してみることで、相手のことを思いながら、やりとりすることを大切にしたい。すぐに答えが出なくても関わっていくこと、相手を分かろうとする思いを大切にしたい。**
- **普段の生活で、考えることができなかったことを考えるきっかけになった。相手を常に受け入れる姿勢が大切であると感じた。**